

ふるさと笠間を描くー郷土画家による風景画の饗宴ー 開催について

会 期 3月24日(木)～3月31日(木)9時30分～17時(最終日は15時まで)

笠間市は、文化を磨き、発信し、交流と連携を促進することで豊かに暮らすことができる「文化交流都市 笠間」の実現を目指して、多様な文化芸術活動を推進しています。

日本画や洋画において、全国規模の公募展でも活躍する市内在住画家たちが、市内の風景をモチーフに個性豊かな作品を制作しており、魅力のある文化芸術に触れる機会を提供するため、「ふるさと笠間を描くー郷土画家による風景画の饗宴ー」を開催します。



展覧会出品作品「秋の稲田山山門」



展覧会出品作品「陽春の山麓」

■開催趣旨

コロナ禍で絵画展覧会の中止や県外での絵画制作自粛など、制作活動が制限されているなか地元画家の制作活動を応援するため、市内の風景をモチーフとした作品制作を依頼した。

愛宕山や北山公園、笠間稲荷門前通りなどの身近な風景が、油彩画や日本画などの技法によって魅力ある芸術作品として描かれている。

文化芸術活動の成果披露や、優れた芸術文化に触れる機会を創出することで、「文化の薫るまち 笠間」のまちづくり実現を目指すとともに、郷土愛の醸成を促進する。

■開催概要

会 期	3月24日(木)～ 3月31日(木) 午前9時30分～午後5時(最終日は午後3時まで)		
会 場	茨城県陶芸美術館 県民ギャラリー(笠間市笠間2345)		
料 金	観覧無料		
作者及び作品名	芥川 麗子	北山公園遠望(秋)	
	飯岡 智恵子	秋の稲田山山門	
	池内 愛子	佐白の赤松	
	石上 幹子	春や春	
	川俣 洋子	笠間稲荷神社通り	
	佐藤 壽子	滝入不動尊	
	菅谷 正道	山なみ	
	廣澤 節	梅雨晴れの佐白公園	
	深作 裕子	春の狐塚	
	町田 博文	陽春の山麓	

この件に関するお問い合わせ

笠間市教育委員会 生涯学習課 担当:竹江、菊池

電話番号:0296-77-1101(内線381) ファックス番号:0296-71-3220 e-mail:gakushu@city.kasama.lg.jp



山なみ

菅谷 正道 SUGAYA Masamichi

プロフィール

1933 茨城県笠間市生まれ
日春展 入選6回
茨城県芸術祭美術展 審査員12回
海老沢東丘氏に師事
現在、茨城県美術展覧会参与、日画会会員、常土社会員

コメント

仏頂山という山の名前もさることながら、栃木県境の山で笠間に連なっています。そこには楞嚴寺という姫春蟬が鳴く古い寺があり、笠間時朝公の墓地もあります。
市内の良い場所を見つけては年間を通じてスケッチをしており、親しみのある山なので作品にしてみました。



梅雨晴れの佐白公園

廣澤 節 HIROSAWA Misao

プロフィール

1939 茨城県笠間市生まれ
1967 茨城県芸術祭美術展 初出品 以後出品
奨励賞('81、'92)、優賞('99)、会友賞('02)
1979 一水会展 初出品 以後出品
1992 一水会展 佳作賞
1994 日展 初出品 以後出品
1996 一水会展 有島生馬奨励賞
2000 一水会 会員推挙
2003 茨城県美術展覧会 会員推挙
現在、日展会友、一水会会員、茨城県美術展覧会会員、
茨城県芸術祭美術展審査員、笠間市市民美術展審査員、常土社会員

コメント

笠間城跡山頂の天守曲輪への登り口にある公園で、常緑樹に囲まれ、梅雨時にはあじさいが咲き、石上からは吾国山が遠望でき四季を通じて好きな場所です。緑を描く難しさはありますが、臨場感を出すため、自然を素直に描きました。
佐白山下の公園より上までハイキングで、特に春から秋にかけて訪れる人が多いです。



春の狐塚

深作 裕子 FUKASAKU Yuko

プロフィール

1959 茨城県笠間市生まれ
2000 茨城県ふるさと美術展 県知事賞
2001 サロン・ナショナル・ボザール展 初出品
2002 アールエボック展 初出品 以後2008まで出品
2004 茨城県勤労者美術展 連合茨城会長賞
サロン・ナショナル・ボザール展 サロン特別賞
2006 茨城県勤労者美術展 県議会議長賞
2007 グラン・コンクール・アンテンナショナル展 初出品
メダイユ・ド・ヴェルメール受章
アール・アン・キャピタル展 初出品
現在、茨城県美術展覧会会友、茨城美術会会員

コメント

毎朝、笠間稲荷神社を参拝し、本殿の裏庭に回ると狐塚の狐たちが「大丈夫。頑張って」と声をかけてくれる気持ちになり、元気になります。
コロナ禍の中でたくさんの人たちが苦境に立たされました。早くコロナが収束し、平穏な日常が訪れるように願いを込めて笠間稲荷神社境内にある狐塚を描きました。



陽春の山麓

町田 博文 MACHIDA Hirobumi

プロフィール

1953 茨城県岩間町(現 笠間市)生まれ
1976 茨城大学教育学部卒業
2000 日展 特選
2003 日展 特選
2008 光風会展 文部科学大臣賞
2018 日展 文部科学大臣賞
個展を三越日本橋本店、水戸京成百貨店、筑波銀行等にて開催
茨城県知事表彰、茨城県功績者表彰、笠間市表彰
現在、日展監事、光風会理事、茨城県美術展覧会副会長、
水戸市美術家連盟副理事長、茨城県文化審議会委員、日展審査員、
光風会展審査員、茨城県芸術祭美術展審査員、
水戸市芸術祭美術展運営委員

コメント

高校生の頃に抱いた「画家として起ち、この郷里に住み、油絵作家の道を進みたい…」という思いは、半世紀の歳月が流れた今日、一層強い願いとなり、私の生きる力となっています。
今回の企画により、生まれ育った笠間市(岩間地区)のシンボルでもある愛宕山をテーマとした風景画を描くことになりました。現在でも里山の風情が色濃く残る愛宕山麓周辺は、四季折々の彩りに映え、市民に心の安らぎを与えています。
陽春の若芽が息吹く山容の景観を、画面構成上若干の省略や強調を施しながらも、できるだけ忠実に描写しました。

ふるさと 笠間を描く

—郷土画家による風景画の饗宴—

令和4年

3月24日(木)～31日(木)

午前9時30分～午後5時(最終日は午後3時まで)

茨城県陶芸美術館
県民ギャラリー

笠間市・笠間市教育委員会

ふるさと笠間を描く ―郷土画家による風景画の饗宴―

主催者あいさつ

「ふるさと笠間を描く―郷土画家による風景画の饗宴―」を開催するにあたり、展示会場を提供くださいました茨城県陶芸美術館をはじめ、関係者の皆様のご支援とご協力に深く感謝を申し上げます。

さて、少子高齢化や人口減少社会の進展など急激に変化する社会情勢において、質の高い生活を送ることができる魅力あるまちづくりを実現するためには、文化芸術が果たす役割の重要性が高まっております。本市では、文化をさらに磨き、発信し、交流と連携を促進することで、豊かに暮らすことができる「文化交流都市 笠間」の実現を目指して、文化芸術活動の成果を発表する場や、優れた文化芸術に触れることができる機会を創出するなど、多様な文化芸術活動を推進しております。

本展覧会につきましては、コロナ禍により絵画展覧会の中止や県外での絵画制作の自粛等、活動が制限されるなか、市が地元画家の制作活動を応援するため、市内の風景をテーマとした作品の制作を依頼しました。日本画や洋画において全国規模の展覧会等でも活躍している市内在住画家によって、愛宕山や北山公園、笠間稲荷門前通りなど、身近な風景が個性豊かな作品として展示されております。

今回の事業趣旨に賛同いただき、出品くださいました画家の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、ご来場の皆様が、ゆったりとした空間の中で芸術作品の魅力に触れ、心豊かな時間をお過ごしいただければと考えております。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。



笠間市

市長 山口 伸樹



北山公園遠望（秋）

芥川 麗子 AKUTAGAWA Reiko

プロフィール	1947	茨城県勝田市（現 ひたちなか市）生まれ
	1997	水戸市芸術祭美術展 初出品 以後出品 現代美術センターディレクター賞（'06） 水戸美術家連盟会員努力賞（'07）
	1998	茨城県芸術美術展 初出品 以後出品 特賞（'99）、会友賞（'04）
	2000	新興美術院展 初出品（2015まで出品）
	2005	本年より個展、グループ展を開催（東京・千葉・茨城など）
	2016	笠間市市民美術展 委嘱出品 以後出品 小林恒岳氏、西脇静子氏、飛澤龍神氏に師事
現在、茨城県美術展覧会会員、水戸市美術家連盟理事		

コメント

住んでいる近くにある公園で散歩コースの1つです。
四季折々に変化する風景に、また水辺の生き物や花たちに感動して、秋の多彩なさまを表現してみました。



秋の稲田山山門

飯岡 智恵子 IIOKA Chieko

プロフィール	1945	茨城県十王町（現 日立市）生まれ
	1968	茨城大学教育学部卒業 茨城県芸術祭美術展 初出品 以後出品 奨励賞（'00、'16）、優賞（'02、'03）、会友賞（'14）
	1995	茨城二紀展 初出品 以後出品 茨城県知事賞（'19）、奨励賞（'01、'18）
	1999	水戸市芸術祭美術展 初出品 以後出品 水戸市長賞（'02）、水戸美術家連盟会員努力賞（'04）、 現代美術センターディレクター賞（'05）
	2000	ボザール公募展 ボザール賞 二紀展 初出品 奨励賞（'16） 以後出品 ボザール公募展 クサカベ賞
	2017	二紀台湾選抜展 出品
現在、二紀会準会員、茨城県美術展覧会会員、水戸市美術家連盟会員		

コメント

山門は、往時生きること喘ぐ人々の心を救おうとした親鸞上人由来の西念寺の参道にひっそり立っていました。
かやぶきの山門は、稀樹お葉つきいちょうを始めとして大樹に囲まれ、静寂な中に穏やかな佇まいで800年余の歴史を偲ばせる趣きの姿でした。
無人の朝陽の中に淨い籐の音が続いていました。
そんな雰囲気と思いの中で絵筆を丁寧に運んでみました。



佐白の赤松

池内 愛子 IKEUCHI Aiko

プロフィール	1930	茨城県笠間市生まれ
	1965	一水会展 初出品 茨城県芸術祭美術展 初出品 入選 以後出品
	1966	一水会展 初入選 以後出品
	1984	個展を水戸常陽藝文センターにて開催 個展を水戸京成百貨店にて開催
	2009	個展を茨城県陶芸美術館にて開催
	2012	国際平和美術展 招待出品 本郷惇氏、鈴木良三氏、田崎廣助氏に師事
現在、一水会会友、茨城県美術展覧会会友、茨城一水会会員		

コメント

1996年、笠間へ帰郷した頃、佐白山周辺の風景に魅せられ多くの絵を描き、一水会展に入選しました。
赤松の美しさから街を見下ろし、自然に咲く山つつじが春を告げる、心地よい季節です。



笠間稲荷神社通り

川俣 洋子 KAWAMATA Yoko

プロフィール	1951	茨城県水戸市生まれ
	1968	水戸市芸術祭美術展 初出品 以後出品 水戸市長賞（'90）、水戸美術家連盟会員努力賞（'06）、 現代美術センター賞（'15）
	1987	茨城県芸術祭美術展 初出品 以後出品 奨励賞（'88、'03）、優賞（'90、'96）、特賞（'04）、会友賞（'16）
	1991	フランス展 出品
	1992	上野の森美術館大賞展 初出品（入選5回）
	1997	フランス美術賞展 入選
	1999	東光展 入賞
	2007	女流画家協会展 初出品 以後出品
	2021	女流画家協会展 入賞
	現在、女流画家協会会員、茨城県美術展覧会会員、水戸市美術家連盟会員	

コメント

今まで海外の街に魅せられ、幾度となくヨーロッパ各地を訪れ、中世の石造りの建物を描いていました。
コロナ禍で海外へ行けない今、身近にある笠間稲荷神社通りにも歴史のある建物と道の両側に並ぶお店や看板、人通りの賑わいはおもしろく思えました。風情のある街並みを残したいと思い描きました。
神社の鳥居はこの視界では見えませんが、ぜひ入れたいと思い描き加えました。



春や春

石上 幹子 ISHIGAMI Motoko

プロフィール	1947	茨城県笠間市生まれ
	2008	茨城県芸術祭美術展 優賞
	2011	笠間市三所神社 絵馬（狩野季信作）修復
	2014	茨城県芸術祭美術展 奨励賞
	2015	茨城県芸術祭美術展 特賞
	2019	茨城県芸術祭美術展 会友賞 海老沢東丘氏、程塚敏明氏に師事
現在、茨城県美術展覧会会員、常土社会員、笠間市文化連盟会員		

コメント

自宅近くの潤沼川沿いに桜並木があります。
桜越しに眺める佐白山の光景を毎年心待ちにしています。その佐白山を背景に笠間の木・桜、笠間の鳥・鶯を描きました。
空は金箔を押して春の明るさを、背景の空間は砂子で奥行きをつけ、二羽の鶯の躍重感でふるさとの春の輝きを表現しました。



滝入不動尊

佐藤 壽子 SATO Hisako

プロフィール	1941	神奈川県横浜市生まれ
	1964	茨城大学教育学部卒業
	1974	茨城県芸術祭美術展 初出品 以後出品
	2004	水戸市芸術祭美術展 優賞
	2005	水戸市芸術祭美術展 水戸市議会議長賞
	2006	水戸市芸術祭美術展 特賞 新興美術院展 初出品 以後出品 （美術の窓賞、京都芸術文化協会賞、郷護賞、奨励賞2回）
	2016	笠間市市民美術展 市長賞
	2017	笠間市市民美術展 教育長賞
	2018	笠間市市民美術展 教育長賞 小林恒岳氏、西脇静子氏、飛澤龍神氏に師事
	現在、新興美術院参与、茨城県美術展覧会会員、水戸市美術家連盟理事	

コメント

昔、修験者は雨来四季を通じ、不動尊に靈験を念じ、滝に打たれ病魔退散、家内安全等々の祈願にわたり、遠近の庶民信仰で栄えました。
滝入は愛宕山の渓水を集め、崖は急に二条の滝が懸かり、周囲の樹々は繁り途切れることなく長い年月を流れ続けている自然の雄大な力に心魅かれ描きました。